

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名	境川遊水地公園		
所在地	横浜市戸塚区俣野町・泉区下飯田町・藤沢市今田		
サイトURL	http://kanagawa-park.or.jp/sakaigawa/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成19年8月)		
指定管理者名	公益財団法人 神奈川県公園協会		
指定期間	H27. 4. 1～H32. 3. 31	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p><評価の理由> 利用状況及び収支状況がA、利用者の満足度がSとなったことからA評価となった。</p> <p><今後の課題・対応等> 今後も遊水地機能の保全を基本としつつ、整備中の拡大区域の将来管理を視野に入れ、自然・スポーツ・交流をテーマに、更なる利用拡大に努めてもらいたい。</p> <p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて 自然環境の保全活用、スポーツや交流を通じた地域づくり等の事業を実施し、実績をあげた。また、遊水地として一時的に水没した有料施設の清掃・維持管理を県とともにやり、早期の利用再開に努めた。</p> <p>◆利用状況 利用者数が目標値を達成したためA評価となった。</p> <p>◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が約93%となったためS評価となった。</p> <p>◆収支状況 収入、支出ともほぼ計画どおりとなり、収支差額は約1%のプラスとなったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 施設等に係るものから職員対応など幅広い苦情や要望が寄せられた。施設等に係るものについては県土木事務所に伝えるとともに、職員対応に係るものについては職員の指導等を行った。</p> <p>◆事故・不祥事 特に大きな事故等は発生しなかった。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p>	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	数ヶ月に1回程度	
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・ 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
■遊水地機能の確保を優先に考えた管理 ○遊水地機能の確実な確保 ○河川水流入が予想される場合の利用者の安全確保 ○遊水地機能等の普及啓発	・遊水地機能を確実に確保するとともに河川水流入が予想される場合の利用者の安全確保を実施 ・遊水地機能等の普及啓発を実施 ・河川管理実務経験者を配置するとともに園内の利用制限の周知、工作物の事前撤去等を実施	
■都市の中の豊かな自然環境の保全・活用 ○大学等との協働によりビオトープの適正な保全 ○ビオトープ管理の人材育成 ○環境学習フィールドとしての利用促進	・大学等との協働によりビオトープの適正な保全を実施。生物モニタリング調査を継続するとともにデータを蓄積し、維持管理計画へフィードバック ・ビオトープ管理の人材育成を実施 ・環境学習フィールドとしての利用促進を実施	
■利用者ニーズの開拓によるスポーツ施設の利用促進 ○健康・レクリエーション型スポーツメニューの提供 ○スポーツ施設の快適な利用環境の整備 ○新たな利用者向けの情報発信の充実	・初心者テニス教室、ウォーキング大会等、健康・レクリエーション型スポーツメニューを提供。新たにグラウンドゴルフ教室を開催 ・環境にやさしい維持管理を行うとともに迅速な復旧等によりスポーツ施設の快適な利用環境を整備 ・新たな利用者向けの情報発信を充実	
■県の「未病を治すかながわ宣言」に賛同した取組	・公園の施設を活かした健康づくりに係るイベントを開催するとともに自治体主催の健康づくり事業に係る情報を発信	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等
売店の運営	繁忙期の週末に利用者ニーズに応えるケイタリングカーを運営
温水シャワー	温水シャワー施設を運営

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	239,165	247,640	245,294
対前年度比		103.5%	99.1%
目標値	238,000	240,000	245,000
目標達成率	100.5%	103.2%	100.1%

目標値の設定根拠： 前年度、前々年度：平成22年度実績の95%
平成28年度：提案書記載目標値

利用者数の算出方法（対象）： 施設利用者数及び目視の計数より推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 123 / 123 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	75	39	4	5	0	123	全体的にきれい
回答率	61.0%	31.7%	3.3%	4.1%			
前年度の回答数	120	30	9	5	0	164	
前年度回答率	73.2%	18.3%	5.5%	3.0%			
回答率の対前年度比	83.3%	173.3%	59.3%	133.3%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？
 実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 97 / 97 = 100.0%
 配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	76	14	7	0	0	97	気さくに話してくれた
回答率	78.4%	14.4%	7.2%				
前年度の回答数	55	7	78	2	0	142	
前年度回答率	38.7%	4.9%	54.9%	1.4%			
回答率の対前年度比	202.3%	292.8%	13.1%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	83,161				83,161	83,161	0	100.00%
	決算	83,161				83,161	74,910	8,251	111.01%
前年度	当初予算	81,850		1,167	自販機1,167	83,017	83,017	0	100.00%
	決算	81,850		939	自販機939	82,789	77,625	5,164	106.65%
28年度	当初予算	81,850		1,196	自販機1,196	83,046	83,046	0	100.00%
	決算	82,244		980	自販機980	83,224	82,350	874	101.06%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H28.4～H29.3	3,959	駐車場補修(496),フェンス等補修(2376),ポンプ改修(1087)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	メール	1 件	・養生や越流を考えると多目的グラウンドは土のグラウンドがありがたい。	→オーバーシーディング等による利用可能期間の長期化の検討を進める。 →カーゴンの設置場所を改善、舗装については県土木が改修を実施した。 →運用について説明し貼紙を再掲示した。フェンスは県土木で修繕した。 →意見を県土木に伝えた。
	口頭	2 件	・身障者用駐車場のカーゴン、緑化ブロック舗装に係る苦情	
	電話	1 件	・テニスコート使用料やフェンスに係る苦情	
	来園	1 件	・多目的グラウンドのトラックが有料なのはおかしい、無料にしてほしい。	
職員対応	電話	1 件	・立入禁止場所に入っていた子供を注意したところ、職員の態度が悪いとの苦情 ・多目的グラウンドで子どもと遊んでいたら高圧的に注意を受けた。	→謝罪し、来園者の心情に十分配慮して利用指導に当たる。 →全職員に対し改めて利用者対応について指導を行った。
	来園	1 件		
事業内容	アンケート	1 件	・冬季の草刈は冬鳥が去った後にするべきではないか、バードウォッチャーのマナーが悪い。	→草刈方法については検討し、マナーに係る貼紙を掲示した。
		件		
その他	来園	2 件	・多目的グラウンド利用者が園路を塞いでいるとの苦情 ・相模風保存会による大風揚げについての苦情	→別の場所へ移動するよう利用指導を行った。 →大風を揚げる際は事前に近隣に挨拶に何うことを確認した。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
なし	①②③④⑤⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。